

障がい者雇用環境アセスメントツールの利用方法

■利用目的

障がいのある方の就労・雇用について、社会的な背景として法定雇用率の上昇や障がい者雇用の理解・促進は進んでいるものの、実際の就労・雇用場面においては求職者・従事者と企業双方に不安が生じるケースが多く存在しています。また、そのことが各企業等において障がい者雇用を促進するにあたっての懸念点になっている現状もあります。

本ツールは、企業側が自社の職場環境・業務内容・業務指示・職務上必要となる要件等について客観的に把握し、それらの情報を求職者・従事者、そして支援者等に提供するためのツールです。チェックシートの質問に回答する過程で、職場状況を可視化するためのアセスメントにより、現状の把握と整理、そして現状からどのような変更や調整が可能になるのかなどを検討するための手がかりとして使用されることを目的としています。

■利用対象

障がいのある方のインターンシップや職場実習の受け入れ経験、また実際の雇用の経験の有無を問わず、各種の実習や具体的な雇用を目指している企業が対象となります。

■アセスメント回答結果の利用方法

アセスメント結果はチェックシートで全体像を把握できるとともに、求職者・従事者や支援者がより状況を把握しやすい情報に展開するものになっています。実習や就労等を希望する方の状態や特性に関する情報とあわせて複合的に検討することにより、双方にとってより良い実習の実施、そして就労・雇用の実現を促進します。

■回答要領

(1) チェックシートの選択

- ・障がい者雇用環境アセスメントツール（チェックシート）は①事務、②作業、③販売・サービスの3職種に分かれています。必ず自社または部署の職種に合ったシートをお選びください。

(2) 回答手順

- ①. 「チェック項目」の質問を読んで、「現在の状態」の該当するものを選び、枠内の「○」を「●」にしてください。
- ②. 「配慮（変更や調整）例」にお進みください。「チェック項目」の質問に対して、求職者・従事者から申し出の可能性のある配慮例を記入していますので、回

答できる場合は、「実施の余地」の該当するものを選び、枠内の「○」を「●」にしてください。

- ③. チェック項目の回答に関する補足や、配慮例に記載している内容以外の配慮があれば、小分類ごとの備考欄に入力ください。
- ④. 前述③に当てはまらない回答結果の補足や、求職者・従事者・支援者との共有事項があれば、2ページ目最下段の備考欄に入力ください。

(3) 回答に際してのご留意事項

- ・障がい者雇用環境アセスメントツールはあくまでも現状を客観的に把握するためのものであり、職場環境の良し悪しや企業の障がい者雇用の状況・水準等を評価するものではありません。
- ・「現在の状態」と配慮の「実施の余地」は障がい者枠の社員に対して行う回答になります。
- ・備考欄は自由記述式となっています。求職者・従事者と企業双方にとって、より適切な実習の実施、そして就労・雇用の実現を促進するうえで指標となる情報となりますので、可能な限り具体的にご記入をお願いいたします。
- ・各質問の主旨（意図・根拠）をチェックシート内の別シートに記載しています。回答にお役立てください。

■問合せ先

本件について、ご不明な点などがございましたら、以下までお問い合わせください。

京都障害者雇用企業サポートセンター

〒601-8047 京都市南区東九条下殿田町70(新町通九条下ル)京都テルサ内

電話番号:075-682-8928 ファックス:075-682-8944

mail: support@kyoto-jobpark.jp

※本ツールは、令和6年度 京都ジョブパーク事業 障害者雇用促進業務において作成されたものです。

以 上